

## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 菊水電子工業株式会社  
 コード番号 6912 URL <http://www.kikusui.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月7日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 小林 一夫  
 (氏名) 齋藤 士郎

TEL 045-482-6912

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	3,517	△0.8	82	△41.2	85	△38.7	74	△8.0
29年3月期第2四半期	3,544	△3.2	140	△10.9	139	△24.1	80	△34.0

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 365百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	8.86	—
29年3月期第2四半期	9.55	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	11,300	9,191	81.0
29年3月期	11,180	9,017	80.3

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 9,151百万円 29年3月期 8,980百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,800	0.8	460	△6.2	480	2.5	315	△5.8	37.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	9,900,000 株	29年3月期	9,900,000 株
30年3月期2Q	1,551,149 株	29年3月期	1,541,449 株
30年3月期2Q	8,356,780 株	29年3月期2Q	8,424,054 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。  
四半期決算補足説明資料は、決算発表後、当社ホームページに記載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示) .....	9
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境や企業収益が改善するなど、緩やかな景気回復基調が続いているものの、海外情勢の不透明感や人手不足感の高まりなどから慎重姿勢も見られました。

また、海外経済においても同様に景気は緩やかに回復しておりますが、米国トランプ政権の政策動向や中国及びアジア新興国経済の経済鈍化懸念、地政学的なリスクの高まり等により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

一方、当社グループが属する電子計測器、電源機器等の業界においては、製造業の設備過剰感は改善傾向にあるものの、設備投資への慎重な姿勢が見られ、総じて厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは引き続き環境・エネルギー関連市場、自動車関連市場及び冷凍空調市場を中心に積極的な営業活動や販路開拓活動と研究開発活動を行うと共に、原価低減と経費節減にも努力を重ねてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は35億1千7百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

損益面におきましては、研究開発費、広告宣伝・販売促進費の増加や本社移転に伴う費用の発生などによる販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益は8千2百万円（前年同期比41.2%減）、経常利益は8千5百万円（前年同期比38.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7千4百万円（前年同期比8.0%減）となりました。

なお、当社グループにおける製品群別の売上の概況は、次のとおりであります。

## 《電子計測器群》

電子計測器分野においては、次世代自動車関連市場や電子部品市場への安全関連試験機器が好調に推移いたしました。前年同期好調だった航空機用電子機器の測定器が低調に推移したことなどにより、前年同期実績を下回る結果となりました。

以上の結果、売上高は7億7千3百万円（前年同期比7.4%減）となりました。

## 《電源機器群》

電源機器分野においては、次世代自動車関連市場や電子部品検査装置向け等への直流電源が好調に推移いたしました。また、車載関連市場やエネルギー関連市場への交流電源や電子負荷装置に動きが見られたことなどにより、前年同期実績を上回る結果となりました。

以上の結果、売上高は26億2百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

## 《サービス・部品等》

サービス・部品等につきましては、特記すべき事項はありません。

当該サービス・部品等の売上高は、1億4千1百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

上記に含まれる海外市場の売上の概況は以下のとおりであります。

## 《海外市場》

米国では、車載関連市場への直流電源やIT市場への電子負荷装置に動きが見られました。欧州では、航空機関連市場や家電関連市場への直流電源や交流電源に動きが見られました。

アジアにおいては、中国では、車載関連市場、エネルギー関連市場への安全関連試験機器、直流電源や電子負荷装置が好調に推移いたしました。韓国では電子部品関連市場への安全関連試験機器、また、東南アジアでは冷凍空調市場や家電関連市場への安全関連試験機器にそれぞれ動きが見られました。

以上の結果、海外売上高は、前年同期実績を上回り、10億6千2百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の総資産は、現金及び預金並びに受取手形及び売掛金が減少したものの、たな卸資産や投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ1億1千9百万円増加し、113億円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金が増加したものの、未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末に比べ5千3百万円減少し、21億9百万円となりました。

純資産は、剰余金の配当及び自己株式の取得等により減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上やその他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べ1億7千3百万円増加し、91億9千1百万円となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度の期末残高に比べ2億2千2百万円（7.7%）減少し、26億4千5百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1億3千5百万円（前年同期は1億7千9百万円）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益8千8百万円の計上、売上債権の減少額4億1千5百万円、仕入債務の増加額1億5千7百万円等による資金の増加が、たな卸資産の増加額2億6千1百万円及び法人税等の支払額1億8千5百万円等による資金の減少を上回った結果によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、△1億6千8百万円（前年同期は△9千万円）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出1億2千2百万円、投資有価証券の取得による支出7千8百万円等による資金の減少が、定期預金の減少額3千2百万円等による資金の増加を上回った結果によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、△1億9千2百万円（前年同期は△2億1百万円）となりました。これは、自己株式の取得による支出8百万円及び配当金の支払額1億8千2百万円等により資金が減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては、平成29年7月28日に「第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,957,843	2,705,227
受取手形及び売掛金	2,345,074	1,932,930
商品及び製品	478,319	643,643
仕掛品	282,497	329,876
原材料及び貯蔵品	537,430	589,393
その他	435,195	480,412
貸倒引当金	—	△1,634
流動資産合計	7,036,360	6,679,850
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	507,871	515,160
土地	1,454,495	1,454,495
その他（純額）	245,453	299,020
有形固定資産合計	2,207,820	2,268,675
無形固定資産	45,151	48,511
投資その他の資産		
投資有価証券	1,051,633	1,521,092
その他	841,701	784,308
貸倒引当金	△2,015	△2,015
投資その他の資産合計	1,891,319	2,303,385
固定資産合計	4,144,291	4,620,573
資産合計	11,180,652	11,300,423
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	555,380	717,454
未払法人税等	228,282	50,727
賞与引当金	158,233	128,497
役員賞与引当金	16,000	—
製品保証引当金	5,238	5,177
その他	406,961	303,636
流動負債合計	1,370,094	1,205,493
固定負債		
役員退職慰労引当金	8,666	8,826
退職給付に係る負債	212,070	207,705
その他	572,002	687,190
固定負債合計	792,738	903,722
負債合計	2,162,833	2,109,215

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,201,250	2,201,250
資本剰余金	2,737,648	2,737,648
利益剰余金	4,353,302	4,243,427
自己株式	△718,069	△726,509
株主資本合計	8,574,131	8,455,816
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	384,936	661,305
為替換算調整勘定	27,295	37,588
退職給付に係る調整累計額	△6,287	△3,113
その他の包括利益累計額合計	405,944	695,780
非支配株主持分	37,742	39,610
純資産合計	9,017,818	9,191,207
負債純資産合計	11,180,652	11,300,423

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	3,544,328	3,517,601
売上原価	1,698,608	1,676,509
売上総利益	1,845,720	1,841,091
販売費及び一般管理費	1,705,487	1,758,687
営業利益	140,232	82,404
営業外収益		
受取利息	1,452	1,037
受取配当金	19,193	19,890
その他	4,420	3,400
営業外収益合計	25,066	24,327
営業外費用		
支払利息	1,219	1,219
売上割引	6,573	7,092
保険解約損	—	6,322
為替差損	14,362	2,867
その他	4,117	3,951
営業外費用合計	26,272	21,452
経常利益	139,026	85,279
特別利益		
投資有価証券売却益	23,255	3,576
特別利益合計	23,255	3,576
税金等調整前四半期純利益	162,281	88,856
法人税等	79,744	12,974
四半期純利益	82,536	75,881
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,098	1,868
親会社株主に帰属する四半期純利益	80,438	74,013



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	82,536	75,881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,649	276,369
為替換算調整勘定	△50,010	10,292
退職給付に係る調整額	△1,385	3,174
その他の包括利益合計	△84,045	289,836
四半期包括利益	△1,508	365,718
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,606	363,849
非支配株主に係る四半期包括利益	2,098	1,868

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	162,281	88,856
減価償却費	85,091	83,903
貸倒引当金の増減額（△は減少）	—	1,609
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△2,047	222
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	160	160
賞与引当金の増減額（△は減少）	△23,892	△29,894
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△33,000	△16,000
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△2,226	△61
受取利息及び受取配当金	△21,557	△21,738
支払利息	7,793	8,311
売上債権の増減額（△は増加）	504,658	415,799
たな卸資産の増減額（△は増加）	△177,094	△261,086
仕入債務の増減額（△は減少）	△10,999	157,383
未払消費税等の増減額（△は減少）	△48,584	△73,785
その他	△127,684	△45,449
小計	312,898	308,230
利息及び配当金の受取額	22,124	22,238
利息の支払額	△9,500	△9,513
法人税等の支払額	△165,608	△185,603
法人税等の還付額	19,368	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	179,283	135,352
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額（△は増加）	63,678	32,838
有形固定資産の取得による支出	△91,991	△122,334
投資有価証券の取得による支出	△93,251	△78,693
投資有価証券の売却及び償還による収入	44,175	11,038
その他	△13,030	△11,732
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90,418	△168,883
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△13,833	△8,440
配当金の支払額	△185,281	△182,710
その他	△1,940	△1,575
財務活動によるキャッシュ・フロー	△201,054	△192,726
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19,730	4,209
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△131,921	△222,048
現金及び現金同等物の期首残高	2,819,880	2,867,372
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,687,958	2,645,323

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。